



発行：日本フットボール審判協会関東審判部

〒112 東京都文京区後楽 1-1-8 03-3815-2210

発行人：塩崎貢正 編集責任者：飯島秀男

1997. 10. 14 発行 97 年度 第 2 号 (通巻 19 号)

FOA NEWS

97 リーグ戦を迎えて

関東大学連盟理事長 水田 吉春

まず安全対策を第一に考慮して、毎年ルールチェンジが行われています。競技団体の関東大学連盟も、これを軽視することはできません。毎年1-4年生を対象に安全対策セミナーを開催し、本年も7月2日、各担当ドクターのご協力により日比谷公会堂に2千人が集い、熱心に受講しました。ドクターグループからの我々に対する提案は特にエリア・医科歯科リーググループへの、より安全を目指す近代フットボール徹底の指導であります。その指導者を募り、育成するのが我々の務めと信じます。今シーズンは、エリア2部のゲームに関して正式10分(1Q)とウォータータイム(9月中)を実施します。これは医科歯科グループにも採用されます。近年新入部員の確保難による部員の減少傾向が特にエリア2部のグループに顕著で、その救済策でもあります。

審判部の機構改革に平行して、関東学連も義務化の緩和をすすめ、新入部員20数名という最近では考えられないスリム化を図ってまいりました。マンツーマンの指導が肝心と思われませんが、よろしくお願いいたします。役員改選により新たなスタートをしたスタッフに大いに期待します。

あと数日で開幕する秋のシーズンに向け、関東学連は各ゲームの担当理事、担当評議員、学生責任者、チームドクター等々のアサインを済ませ、備品のチェックを終わり、明日は社会人協会と合同で大手町クラブにてプレスリリースです。毎年審判部にもご迷惑をかけていますフィールドクロック等も念入りにメンテナンスを施行し、プレーヤーや観客の皆様にもご満足いただけるシーズンをとこころがけております。

歴史的にFOAにはフットボールの普及に強い関心をお持ちの方が多数おいででした。目下関東地区周辺の県協会の発足を更にすすめております。千葉県協会に次いで、埼玉、茨城の両県が今年から来年にかけて発足します。近い将来、それぞれの地域の公共スタジアムでフットボールゲームが開催されるでしょう。高等学校にチームが新たにできるよう、日本協会は笹田新理事長の方針の下、小・中学生にタッチ、タッグ、フラッグフットボールの普及を進めております。

我々関東学連も普及部においてこの方針を踏襲し、指導者の募集を始めております。どうか趣旨ご賛同の上、FOAの皆様の益々のご指導とご支援をお願いいたします。

全国学生選手権に関して、今年は大きな動きがありました。近い将来、真のそしてわかりやすい学生チャンピオンがライスボウルに出場することになると信じます。

小生も一審判員として今シーズンも頑張る所存でございます。1ゲームでも多く参加していきたいと思います。何卒よろしく!!

(本稿は8月23日にいただいたものです)

夏季合宿を3年ぶりに開催

平成7年以降一時中断していた夏季合宿が今年再開されました。山梨県清里村の「キープ協会・清泉寮」で7月19-20日の1泊2日で行われました。当日はFOA関東が81人(日帰り5人、新人5人を含む)、社会人東日本から6人、招待者として社会人西日本2人、FOA関西1人のほか、家族参加が8家族15人の総勢105人の参加者でした。当日招待として参加いただいたNFA関西の古郷氏、NFA関東の廣瀬氏より感想が寄せられましたので、ここに掲載します。

夏季合宿に参加して

社会人協会西日本支部審判部を代表しまして、毎年のご招待に感謝と、合宿運営のスタッフの皆様にご敬服させていただきます。

私事ながら、今回の関東審判部のクリニックは2回目の参加となりましたが、今回は場所も清里、内容も実技が伴う、私にとって大変有意義な時間を過ごすことができました。研修会の、時系列的にクリニックに参加した感想を列挙させていただきます。

まず、D. LEWIS 氏のビデオですが、私もルイス氏の来日時の見学される試合の関西でのレフリーに運良く(?)担当させてもらい、自分たちの内容と比較できて、大変参考になりました。いつもの審判ぶりと、かなり緊張し、いつもでは考えられないようなミスをしたことが思い出されます。

次にルール変更ですが、今回、審判のクリニックではじめてパワーポイントを使用されるのを見て、分かりやすい説明にご苦労されているのが、こちらに伝わって来ました。デジタルデータがほしいなと、思った瞬間でした。内容ではNCAAの変更の考慮点を、詳しく説明され、それにリンクする形でルール変更を解説されましたので、変更の意図がよくわかりました。

夜の懇親会は開店2日目のロックで本当に関西の審判では間違いなく、一番乗りで、タッチダウンを飲めたのは大変嬉しかったです。この辺になると、朝の5時起きがたたって、大変辛くなりましたが・・・。

2日目の実技研修では、クリッピングゾーンと7ヤードラインで、ゾーンの体感ができて、非常に良かったです。このクリニックのスタイルは西日本社会人でも、ぜひやってみようと思います。

最後に殿堂見学ですが、じっくり見たので、気がつけば審判のみなさんは誰もいない時まで、見てました。

中村先生のお話を聞いてから入ったためでしょうか、奉仕の精神で、一般の人に協会旗の説明までしてました。

私にとって興味深い物がたくさん有り、時間を経つのも忘れていました。

きっと、このクリニックで伝えたい事の一つに清里で、殿堂を見学して何か掴めという意図が、鈍感な私のハートに衝撃を与えてくれました。

ざっと感想を述べましたが、今後もますます充実した研修会で、私たちに刺激を与えて下さるように切に願います。本当にスタッフの皆様、お疲れさまでした。また、数々のお気遣いを、どうもありがとうございました。

秋のファイナルでもう一度お会いできることを楽しみにしております。

(NFA関西審判部 古郷 義明)

私自身は10数年程前にFOAに参加させていただいており、FOA合宿はそれ以来の参加でした。私が昔行った大磯の海と、今回の清里の山とは環境は異なりますが、とてもよかったと思います。(もう少し近距離であれば一層...)

今回参加し、多くのことについて興味を持ちましたが、その中でも特に印象に残ったものは、喜入さんに講義していただいたNCAAの「規則変更時の考慮点」でした。8項目ありましたが、その内「観客にとって面白いこと」という項目は日本の文化では考えにくいものと思います。大相撲などではルール変更そのものが先ず無く、ファンサービスのためなど私が知る限り皆無です。日本では伝統を重んじることが優先され、ルールもそれに準ずる傾向にあると感じます。「スポーツ」を「運動」と訳すこと自体が間違いなのかもしれないなどと考えながら聴かせていただきました。

今回は私どもの社会人グループ(関東)から5名参加させていただきましたが、皆さん温かく迎えていただき、ありがとうございました。また、今回の合宿を何事も無く受講させていただけたことは、運営を担当されている方々の綿密な準備の賜物と感謝しております。誠にありがとうございました。次回は更に人数を増やし、参加したいと思います。今後ともよろしくお願いします。

(NFA関東審判部 廣瀬義夫)

関西審判部合宿に参加して

去る7月12日から13日にかけて、大阪の箕面ゴルフ研修センターで行われた合宿研修に川村さんとともに、初めて参加してきました。関西審判部の中堅の方を中心に、東海地区、北陸地区からも2名ずつの総勢40名余りの合宿となりました。

初日の研修は夕食の後、「レフリーのプリゲームミーティングの進め方」と題して、ゲームコントロールにプリゲームミーティングが、いかに重要な役割を持つか、またそのためにレフリー担当者はどのような準備をすべきか、を実際にゲームで使用した資料を基に、約2時間の興味深いクリニックでした。

関西では、レフリーはプリゲームミーティング用に各自で資料を作成してゲームに臨む方が多く、2〜3枚から人により6〜7枚も資料を作る方もいると聞いて、川村さんと二人で大変感心し、今後のレフリーを担当する場合の良い参考となりました。(ただし、私が今後このような資料を作成するのか？と言うと、それは別問題といたします…)

クリニックの終了後は懇親会に移り、ビール片手に自己紹介と、各自今までに冒したミスホイッスル例(自分の事は棚に上げて言いますが、これが実におもしろい)の告白、さらに半強制的に？(関西の方たちは、かなり自主的に)一芸を披露(何のネタも用意していなかった自分の事は棚に上げて言いますが、これもむりやりおもしろい)しながら夜遅くなるのを忘れて、歓談に盛り上がりました。

2日目のクリニックは、即席で7人のクルーを作りビデオ(米国、カレッジのゲーム)を見ながら、各自割り当てられたポジションに入っていると仮定して、各クルー毎にポイントとなる部分をディスカッションするという、ユニークなクリニックとなりました。

不思議なもので、仮想のゲームでも一度クルーとして話し合いを持つと、懇親会とは別の意味で、仲間意識のような感覚が自然にできあがるのを、朝からの頭痛をこらえながらも強く感じました。

そんなこんなで2日目のクリニックも正午近くに終了。皆さんとの再会を約束してほどなく解散、帰京となりました。最後に、次回、関東から参加してみようと言う方に一言、何か一つ「芸」を持って参加されることをお勧めします。

(相馬 秀)

SFOAのクリニックに参加して

去る8月7日から10日まで開催された、SFOA(Southwest Football Officials Association)のAnnual Meetingに、伊藤副部長と共に参加してまいりました。今回の会場はテキサス州の中でもかなり南部に位置する Corpus Christi というメキシコ湾沿いの保養地で、こちらから参加した者(関西からは3名参加していました)以外には日本人はいませんでした。

シアトル、サンフランシスコ、ダラスと乗り継いでコーパス・クリスティへに着いたのが7日の夜10時過ぎ。翌8日の夕方に、第2次世界大戦で使われたレキシントンという航空母艦が博物館としてありまして、その格納庫の中が、一応の軽食屋になっていまして、そのスペースで fiesta が行われました。我々もルイスご夫妻と関西からの3名の方々とともに出席しましたが、なんせ航空母艦ですから冷房の設備などありません。その格納庫に数百人が入ったら・・・。

9日からは、本格的なクリニックです。7:30からの朝食のゲストスピーカーは、アメリカンボウルにも来た Red Cashion というNFLのレフリー(もう引退しました)です。この人の「ふぁーすとだうん!!」という一声は彼らアメリカ人の中でも有名なようで、スピーチの最後にはリクエストにこたえて「ふぁーすとだうん!!」と名調子を聞くことができました。また、この朝食の席で、ルイスさんにより我々日本からの参加者は全体に紹介して頂きました。とても光栄でした。

また、彼らの中には、遠い島国の人間が何でルイスさんのような方を知っているのか不思議がっている人もいました。

10:00からは会場を近くのコンベンションセンターに移して、Position Breakouts という名前で、「レフリー」、「アンパイヤ」、「フランクポジション」、「バックジャッジ」というポジションに関するもの、「ランニングゲーム」、「パッシングゲーム」、「キッキングゲーム」というプレーの種類によるもの、「6人制」、「4人制」、「2/3人制」といういろいろな人数でのメカニック、及び「罰則の施行」、「コーチとのコミュニケーション」、「タイブレイク・その他未解答のもの」というコマが75分から80分の時間帯の中で5〜7コマ用意されています。あとは自分の好みで(担当者や内容で)出たいものに出る、というかたちです。やり方も講師それぞれによってことなり、ひたすらしゃべる人、プリントを用意する人、OHPを使う人、パソコンでプレゼンテーションする人など。

またそれぞれの部屋は人気（需要）に応じて20人弱の部屋から100人は入るような部屋まで様々です。クリニックのあとの方で評価シートを提出するようになっています。この、受講する側からの評価というものは、我々も取り入れなければならないことだと思いました。ルイスさんは日本にいらした際に「7人制メカニック」のクラスをやってくださるとおっしゃっていたのですが、残念ながら「ランニングゲーム」と「タイブレーク・その他未解答のもの」を2コマずつ担当されていました。全体で5コマ（9日が3コマ、10日が2コマ）ある内の4コマを担当するというのは、一番の働き者です。

このSFOAのメンバーの主体は高校生のゲームを担当する人達で、メカニックとしては「5人制」でやっているそうです。ですから、「フランクポジション」の動きはかなり強調されています。「5人制」があつての「7人制」でしょうから、参考になるところはずいぶんありますが、「7人制のメカニック」の講習も聞きたかったところです。

また、受講している人達は本当に積極的に質問をしています。中には「もう一寸勉強しろよ!」とブーイングを受けるものもありますが。とりあえず英語を必死に聞きとって、で、内容を確認してみれば、それはほとんど我々が発している疑問と同じようなレベルでした。また、実際のゲームのビデオを見ながら、位置の取り方や何を注意すべきか、等を確認していましたが、これも我々がやっていることと、かけ離れたものではありません。我々も、驕ってはいけませんが自信を持っていたのだ、と思えたのは大いなる収穫でした。

(教育担当理事 佐藤浩行)

部員短信

☆ 結婚おめでとう

井汲義晃 (H) 氏 5. 26

小川廣純 (A) 氏 7. 26

石渡教郎 (G) 氏 10. 12

伊藤 孝 (H) 氏 10. 25

【推薦委員会より】

先に監事を辞退された喜入博氏の後任として
中尾公一氏が就任されました。

97年度休・退部について

今年度、関東審判部を休・退部された方々の一覧を掲載します。(順不同、敬称略)

・退部者

A 若佐 裕子 目園	A 大林 昌史 高千穂
A 奥野 淳也 成城	A 鈴木 義明 足工
A 瀬尾 尚弘 日歯	A 山口 良明 横国
B 太田 基之 武蔵	B 岡澤 裕介 一橋
B 阪本 真樹 流経	B 福田 泰昌 立教
B 李 光生 日歯	C 井上 知行 慶応
C 正田 均 学習院	C 鈴木 義徳 埼玉
C 弁崎 孝朗 関学	C 山下 俊一 東洋
D 鎗 孝志 名大	D 嶋田 剛久 明治
D 内田 喜夫 神外	D 真島 裕 亜大
D 横張 裕二 埼玉	D 宮崎 功 足工
D 本内 潤一 帝京	E 前島 伸六 横国
E 江沢 和彦 早大	E 大橋 俊之 早大
E 上谷 丈和 武工	E 斉藤 尚人 帝京
E 土井 隆史 慶応	E 山鹿 泰弘 駒沢
E 吉田 隆弘 武工	E 岡本 茂和 関東
E 北井 昇 大東	E 竹川 信一 駿河
F 西山誠一郎 中央	F 松本 英樹 山学
G 大塚 伸之 茨城	G 榊 浩人 帝平
G 澤野 恭典 農工	G 高橋 靖暁 立正
G 田澤 重伸 東歯	G 田嶋 一郎 日工
G 鳥海 潤 成城	G 吉田 達也 立正
H 今井 貴彦 駒沢	H 岡田 章 足工
H 吹上 総一 埼玉	E 大谷 隆之 東工
A 岡部 秋也 上智	C 平野 忠信 東外
C 山田 恒治 関学	G 木村 吉伸 千工

・休部者

D 川村 正克 明星	E 井上 浩則 桜美林
E 田村 恭則 上智	G 星野 達衛 千工
H 青砥 正道 宇都宮	H 小出隆太郎 東工
E 原 和生 武蔵	

【編集担当=森 賢